

トランプ関税による中部圏への影響額試算 (2025/7/23時点織り込み)

2025/07/29





- 当財団では、これまで第1弾(2025/3/7)、第2弾(2025/5/13)の「トランプ関税」の発動による中部圏経済への影響について試算しましたが、このたび2025年7月23日の「トランプ関税」に関する報道を受け、2025年度の中部圏への影響額について試算しましたので、報告いたします

〈試算の前提〉

相互関税は15%

自動車本体は15% (4月以前の2.5%を含むため、上昇分は12.5%)

自動車部品は15% (4月以前の部品の平均税率を2.5%と仮定し、上昇分は12.5%)

〈試算の方法〉

- 相互関税の試算対象品目は「一般機械」とする (詳細は末尾の参考資料を参照)
- 関税上昇分がアメリカの市場価格に全て転嫁された際の需要の変化等を推計し、輸出減少額やそれに伴う企業売上と付加価値の減少額を【中部圏地域間産業連関表】を用いて試算した
- (その他の詳細な試算方法については、末尾の参考資料を参照)



1. 中部9県の影響額試算(p4)
2. 中部9県の各県の詳細(p5~p13)
3. 試算の留意点と試算の流れ(p14)

1. 【中部9県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が7,100億円、売上減少が1兆4千億円、付加価値の減少が4,400億円と試算
 産業別では、自動車部品、乗用車、生産用機械、商業などへの影響が大きい
 （弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

県別	輸出減少	売上減少	付加価値減少	産業別	付加価値の減少額
富山	33	149	64	1 自動車部品・同附属品	1,494
石川	74	168	82	2 乗用車	626
福井	14	73	27	3 生産用機械	491
長野	315	530	218	4 商業	274
岐阜	104	522	209	5 はん用機械	202
静岡	612	1,503	479	6 その他の対事業所サービス	165
愛知	5,352	9,988	2,813	7 プラスチック製品	79
三重	316	928	263	8 産業用電気機器	75
滋賀	283	481	198	9 道路輸送（自家輸送を除く。）	63
合計	7,103	14,343	4,354	10 その他の金属製品	61

2. 【富山県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が33億円、売上減少が149億円、付加価値の減少が64億円と試算
産業別では、自動車部品、生産用機械などへの影響が大きい

（弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

富山（単位：億円）

輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額		
33		149		64		
輸出減少		売上減少		付加価値減少		
1	自動車部品・同附属品	16.6	自動車部品・同附属品	33.1	自動車部品・同附属品	13.0
2	生産用機械	10.4	生産用機械	15.0	生産用機械	7.0
3	はん用機械	6.4	鋳鍛造品（鉄）	11.4	鋳鍛造品（鉄）	5.4
4	電子計算機・同附属装置	0.0	非鉄金属加工製品	11.0	商業	4.4
5	乗用車	0.0	はん用機械	9.4	はん用機械	4.2
6			電力	8.2	電力	3.7
7			その他の電子部品	7.0	その他の電子部品	3.4
8			銑鉄・粗鋼・鋼材	6.3	非鉄金属加工製品	2.2
9			商業	6.2	銑鉄・粗鋼・鋼材	2.0
10			プラスチック製品	5.6	プラスチック製品	2.0

富山県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 0.82% → 0.69%（差△0.13%）

2. 【石川県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が74億円、売上減少が168億円、付加価値の減少が82億円と試算
 産業別では、生産用機械、はん用機械などへの影響が大きい
 （弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

石川（単位：億円）		輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額	
		74		168		82	
輸出減少		売上減少		付加価値減少			
1	生産用機械	59.7	生産用機械	71.6	生産用機械	32.1	
2	はん用機械	10.4	はん用機械	13.0	はん用機械	6.6	
3	電子計算機・同附属装置	2.2	電子デバイス	11.9	電子デバイス	5.6	
4	自動車部品・同附属品	1.6	その他の電子部品	8.4	商業	5.5	
5	乗用車	0.0	商業	7.9	その他の電子部品	4.5	
6			自動車部品・同附属品	7.4	自動車部品・同附属品	3.5	
7			電力	7.2	電力	3.3	
8			産業用電気機器	6.5	産業用電気機器	3.0	
9			鋳鍛造品（鉄）	3.6	その他の対事業所サービス	2.1	
10			その他の対事業所サービス	2.8	鋳鍛造品（鉄）	1.7	

2. 【福井県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が14億円、売上減少が73億円、付加価値の減少が27億円と試算
産業別では、生産用機械、自動車部品などへの影響が大きい

（弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

福井（単位：億円）

輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額		
14		73		27		
輸出減少		売上減少		付加価値減少		
1	生産用機械	9.5	自動車部品・同附属品	12.1	生産用機械	5.2
2	はん用機械	4.3	生産用機械	11.6	自動車部品・同附属品	4.0
3	自動車部品・同附属品	0.1	その他の電子部品	8.3	その他の電子部品	2.9
4	電子計算機・同附属装置	0.0	非鉄金属加工製品	6.3	商業	2.3
5	乗用車	0.0	はん用機械	5.0	はん用機械	2.0
6			プラスチック製品	4.5	電力	1.1
7			商業	3.5	その他の金属製品	0.9
8			電力	2.7	道路輸送（自家輸送を除く。）	0.9
9			その他の金属製品	1.8	その他の対事業所サービス	0.9
10			合成樹脂	1.4	非鉄金属加工製品	0.8

福井県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 0.98% → 0.90%（差△0.08%）

2. 【長野県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が315億円、売上減少が530億円、付加価値の減少が218億円と試算
 産業別では、生産用機械、電子計算機などへの影響が大きい
 （弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

長野		(単位：億円)	
輸出減少額		売上減少額	
315		530	
輸出減少		売上減少	
1 生産用機械	152.9	生産用機械	161.9
2 電子計算機・同附属装置	98.4	電子計算機・同附属装置	98.6
3 はん用機械	48.7	自動車部品・同附属品	68.0
4 自動車部品・同附属品	14.9	はん用機械	53.6
5 乗用車	0.0	その他の電子部品	23.2
6		商業	19.0
7		産業用電気機器	11.8
8		通信・映像・音響機器	9.8
9		その他の対事業所サービス	9.8
10		その他の金属製品	9.2
		生産用機械	72.9
		電子計算機・同附属装置	31.7
		はん用機械	24.1
		自動車部品・同附属品	18.0
		商業	12.9
		その他の電子部品	8.4
		その他の対事業所サービス	7.1
		産業用電気機器	4.6
		その他の金属製品	4.5
		通信・映像・音響機器	3.6

長野県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 1.07% → 0.83%（差△0.24%）

2. 【岐阜県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が104億円、売上減少が522億円、付加価値の減少が209億円と試算
 産業別では、自動車部品、生産用機械などへの影響が大きい
 （弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

岐阜		(単位：億円)				
輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額		
104		522		209		
輸出減少		売上減少		付加価値減少		
1	生産用機械	48.6	自動車部品・同附属品	208.8	自動車部品・同附属品	68.3
2	自動車部品・同附属品	32.4	生産用機械	61.7	生産用機械	27.3
3	はん用機械	22.9	はん用機械	35.0	はん用機械	15.2
4	電子計算機・同附属装置	0.3	プラスチック製品	27.8	その他の金属製品	13.0
5	乗用車	0.0	その他の金属製品	25.9	プラスチック製品	10.3
6			鋳鍛造品（鉄）	19.1	商業	9.7
7			産業用電気機器	15.4	鋳鍛造品（鉄）	7.8
8			商業	13.5	その他の対事業所サービス	5.2
9			ゴム製品	10.2	産業用電気機器	5.2
10			電力	9.7	ゴム製品	5.0

岐阜県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 0.91% → 0.65%（差△0.26%）

2. 【静岡県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が612億円、売上減少が1,503億円、付加価値の減少が479億円と試算
産業別では、自動車部品、生産用機械などへの影響が大きい

（弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

静岡（単位：億円）

輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額	
612		1,503		479	
輸出減少		売上減少		付加価値減少	
1 自動車部品・同附属品	277.5	自動車部品・同附属品	774.7	自動車部品・同附属品	202.0
2 乗用車	170.5	乗用車	170.5	生産用機械	61.0
3 生産用機械	113.2	生産用機械	131.7	乗用車	29.1
4 電子計算機・同附属装置	26.0	産業用電気機器	45.1	商業	23.2
5 はん用機械	25.0	はん用機械	38.0	はん用機械	17.0
6		商業	35.3	産業用電気機器	16.7
7		非鉄金属加工製品	33.1	その他の対事業所サービス	14.0
8		電子計算機・同附属装置	26.2	その他の電気機械	9.3
9		その他の電気機械	25.7	道路輸送（自家輸送を除く。）	9.3
10		プラスチック製品	21.1	電子計算機・同附属装置	8.4

静岡県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 1.32% → 1.06%（差△0.26%）

2. 【愛知県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が5,352億円、売上減少が9,988億円、付加価値の減少が2,813億円と試算
産業別では、自動車部品、乗用車などへの影響が大きい

（弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

愛知（単位：億円）

輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額	
5,352		9,988		2,813	
輸出減少		売上減少		付加価値減少	
1 乗用車	3286.2	自動車部品・同附属品	4205.0	自動車部品・同附属品	1091.2
2 自動車部品・同附属品	1536.8	乗用車	3286.2	乗用車	561.1
3 生産用機械	371.1	生産用機械	402.7	商業	204.5
4 はん用機械	145.3	商業	290.1	生産用機械	189.7
5 電子計算機・同附属装置	12.4	銑鉄・粗鋼・鋼材	207.5	その他の対事業所サービス	118.8
6		はん用機械	178.7	はん用機械	76.6
7		その他の対事業所サービス	158.6	銑鉄・粗鋼・鋼材	52.1
8		プラスチック製品	125.9	プラスチック製品	45.0
9		産業用電気機器	108.9	産業用電気機器	39.5
10		鋳鍛造品（鉄）	81.1	鋳鍛造品（鉄）	33.0

愛知県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 2.07% → 1.36%（差△0.71%）

2. 【三重県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が316億円、売上減少が928億円、付加価値の減少が263億円と試算
産業別では、自動車部品、乗用車などへの影響が大きい

（弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

三重		(単位：億円)				
輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額		
316		928		263		
輸出減少		売上減少		付加価値減少		
1	乗用車	181.9	自動車部品・同附属品	343.8	自動車部品・同附属品	75.2
2	自動車部品・同附属品	68.1	乗用車	181.9	乗用車	35.9
3	はん用機械	35.8	はん用機械	53.9	はん用機械	19.4
4	生産用機械	25.8	生産用機械	34.4	生産用機械	14.3
5	電子計算機・同附属装置	4.6	プラスチック製品	30.9	ゴム製品	9.7
6			非鉄金属加工製品	26.4	その他の対事業所サービス	9.5
7			電子デバイス	25.3	電力	8.3
8			ゴム製品	23.1	商業	8.3
9			石油製品	18.5	プラスチック製品	8.3
10			産業用電気機器	18.2	電子デバイス	8.0

三重県の2025年度経済見通しの修正（影響前成長率） 0.78% → 0.48%（差△0.30%）

2. 【滋賀県】自動車、自動車部品、一般機械への関税影響試算（単位：億円）



輸出減少が283億円、売上減少が481億円、付加価値の減少が198億円と試算
 産業別では、生産用機械、はん用機械などへの影響が大きい
 （弾力性について、自動車は-1.68、自動車部品は-1.33、一般機械は-1.37と推計）

滋賀（単位：億円）		輸出減少額		売上減少額		付加価値減少額	
		283		481		198	
輸出減少		売上減少		付加価値減少			
1	生産用機械	160.1	生産用機械	172.6	生産用機械	81.3	
2	はん用機械	79.4	はん用機械	90.3	はん用機械	37.3	
3	電子計算機・同附属装置	28.7	自動車部品・同附属品	73.6	自動車部品・同附属品	19.3	
4	自動車部品・同附属品	14.6	電子計算機・同附属装置	28.7	電子計算機・同附属装置	8.8	
5	乗用車	0.0	非鉄金属加工製品	11.7	その他の対事業所サービス	5.6	
6			プラスチック製品	11.2	その他の金属製品	4.4	
7			その他の金属製品	9.0	プラスチック製品	3.9	
8			その他の対事業所サービス	7.6	商業	3.6	
9			鋳鍛造品（鉄）	7.5	鋳鍛造品（鉄）	3.2	
10			商業	5.3	非鉄金属加工製品	2.6	



3. 試算の留意点と試算の流れ

〈試算の留意点〉

- 使用したデータは、名古屋税関および北陸3県管内税関の対米輸出データ
- 対象品目は自動車・自動車部品・一般機械（生産用機械等）で、名古屋および北陸税関からの対米輸出の約70%をカバー（金額ベース）
- 関税上昇分が米国の販売価格に全て転嫁されたときの中部圏への影響額を試算
- 前提となる価格弾力性は自動車-1.68、自動車部品-1.33、一般機械-1.37と試算

〈試算の流れ〉

- ① 影響額の試算には中部圏地域間産業連関表（2015年表）を使用した。貿易統計の2015年から2024年にかけての各産業の輸出拡大率から、2024年の産業連関表上での輸出額を推計
 - ◆ 福井、富山、石川は各県の輸出額のデータ、それ以外は名古屋税関のデータで計算
- ② 貿易統計における世界向け輸出と米国向け輸出の比から、産業連関表上での米国向け輸出額を推計し、関税の上昇幅と弾力性から、**米国向け輸出の減少額を推計**
- ③ ②を最終需要の変化として、産業連関表から中部9県全産業への影響額（**売上ベース**、**付加価値ベース**）を試算

※2025年4月～7月には複数の税率が実施されたが、公表の迅速さ等の観点から、2025年度の年間を通して本試算で前提とした税率が実施されたときの影響額を試算した